

越智文雄の一言モノ申す!

株式会社あかりみらいの越智文雄社長が、安心安全な未来に向けた「気づき」を発信するコラム。
エネルギー・防災・防疫などの幅広いテーマで辛口甘口、縦横無尽に斬り散らかす!

革命的な冷媒ガスを秘匿する 業界の利権とは?

本

連載を始めたことで毎月1回、世の中の不条理と犯人

(とおぼしき人たち)への怒りを表明している。精神衛生には良くない仕事である。ただし、今月の話題はまごうことなく「全国民一緒に怒ってください」というテーマ。本号発刊の時はまだ夏の真っ盛り。クーラー全開で、先月の電気料金に目を剥いているところだと思ふ。今朝のワイドショーでも38度の猛暑の中で電気代がもったいないので、クーラーをつけず我慢している老夫婦を取材していた。さすがに頭が痛くなったので、30分だけクーラーを入れて凌いだと言う。まさに命を削って電気代を節約しているのだ。全国民の皆さん、このクーラーの電気料金が実は半額で済んでいたとしたらどうだろう? そんな馬鹿な。嘘だろう。いや嘘じゃない。世界の最新技術は空調効率が倍になる冷媒ガスを発明していたのである。

同じ温度を維持するのに半分の電気使用量で良い。つまり半分の電気代でクーラーを思う存分使えるのである。クーラー本体を取り替えずとも、冷媒ガスをフロンガスから自然冷媒ガスに交換する。それだけの簡単な作業で、これからクーラーの電気代が半分になる。ホテルや店舗、米の保冷庫などは設備の特性で3割から6割の削減実績が証明されている。

LEDと同様、これほど電力量が下がるならば、かかる費用を2、3年の分割払いにすれば、自分のお金を使わずに冷媒ガスに換えられるうえ、そこから先はずっと半分の電気代で快適な夏を過ごせるのである。なんでそんないい話が国民に知らされていないのか。この事実を3年前に知っていたのに口をつぐんでいた連中がいる。もちろん日本の空調工業会は世界の動きを知っていた。日本の環境省も脱フロン対策の目玉のひとつが自然冷媒だと認識している。これほど猛暑に日本人が苦しんでいる中で、物価高と電気料金に家計も経営も財政も苦しんでいる中で、電気代が払えなくて熱中症になってしまう人がいる中で。革命的かつ

簡単で省エネ方法を知らせずにいた不作為。不作為どころか、この普及を妨害する輩がいるのである。革命的な製品が出てきたときに必ず起こる利権活動。現在使っている代替フロンガスの在庫がなくなくなるまでは、新製品には手を出さない。どんなに冷房効率が良くても、二酸化炭素を出さない良いガスであっても、お客様の電気代負担が半分で済むのがわかっていても、今の代替フロンガスを売り切るまでは消費者にも教えない。それどころか、問い合わせがあった会社には「わが社のガスを使わないのなら

らば保証しない、点検しない。それどころか「自然冷媒ガスを使うと火事になる」とデマを飛ばす始末。昔、電力会社に勤務していた頃に「オール電化住宅に住むと癌になる。妊娠すると流産する」というデマを関西のガス会社が日本中で広めていた。大阪資本の会社には、デマのマニュアルでもあるのだろうか。

沖縄の電気代は日本一高い。これは仕方がない。それでもクーラーの電気代を半分にできる方法はある。いつそのこと、沖縄さんで扱いませんか?



越智 文雄
エネルギーコンサルタント
防災・危機管理アドバイザー

1957年生まれ。80年より北海道電力・電気事業連合会に勤務。97年、電事連でCOP3に立ち会う。2008年、北海道洞爺湖サミット環境総合展事務局。12年、株式会社あかりみらいを起業。全国のカーボンニュートラル対策、完全LED化に取り組む。「(一社)日本の灯りを護る会」代表、(一社)日本自然冷媒研究開発機構理事、(一社)次亜塩素酸水溶液普及促進会議代表理事。

株式会社あかりみらい

akarimirai

自然冷媒ガスのお問合せはこちら

☎ **0120-760-814**

フリーダイヤル受付(平日9時~17時30分)

あかりみらい

【沖縄あかりみらい(株)】

沖縄県那覇市久茂地2-19-5

【札幌本社】北海道札幌市北区北11条西2-2-17

セントラル札幌北ビル4階

【東京支社】東京都中央区日本橋室町1-2-6

日本橋大栄ビル7階

【大阪支社】大阪府大阪市北区梅田2-2-2

ヒルトンプラザウエストオフィスタワー18階



新・堤未果の
アンダーワールド

越智文雄の一言モノ申す!